## 特許協力条約

PCT

## 国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

REC'D	22	APR 2004
WIPO		PCT

出願人又は代理人 JAM-A2002 の沓類記号 100	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP03/07504	国際出願日 (日.月.年) 12.06.2003	優先日 (日. 月. 年) 13.	. 06. 2002		
国際特許分類 (IPC) Int.Cl' B 2 1 D 2 8 / 1 0, 2 8 / 3 4, 3 7 / 0 2					
出願人 (氏名又は名称) 株式会社アマダ					
1. 国際予備審査機関が作成したこの	国際予備審査報告を法施行規則	 第57条(P C T 3 6 条)の規	定に従い送付する。		
2. この国際予備審査報告は、この表記	紙を含めて全部で3	ページからなる。			
この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。     (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で     ページである。					
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。					
I × 国際予備審査報告の基礎	<u>Ž</u>				
II					
II					
IV 開の単一性の欠如					
V 区 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 VI □ ある種の引用文献					
VII 国際出願の不備					
I 国際出願に対する意見					
国際予備審査の請求書を受理した日 25.12.2003	国際予備	審査報告を作成した日 08.04.200	) 4		
名称及びあて先		査官(権限のある職員)	3 P 8 6 1 4		
日本国特許庁 (IPEA/JF 郵便番号100-8915 東京都千代田区裔が関三丁目4	5	金澤 俊郎			

電話番号 03-3581-1101 内線

3 3 6 3

I. 🗉	国際予備審査報	告の基礎				
F	1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。 (法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。 PCT規則70.16,70.17)					
×	出願時の国際	出題書類				
	明細書 明細書 明細書	第	_ ページ、 _ ページ、 _ ページ、 _ ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と		
	請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲	第 		出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基 国際予備審査の請求書と	らづき補正されたもの	
	図面 図面 図面	第 第 第	ページ/図、 ページ/図、 ページ/図、 	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と		
	明細書の配列	刊表の部分 第 刊表の部分 第 刊表の部分 第	ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と 		
2	上記の出願書類	質の言語は、下記に示す場合を	を除くほか、こ	の国際出願の言語である。		
		下記の言語である	語であ			
<ul> <li>■ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語</li> <li>■ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語</li> <li>■ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語</li> </ul>						
3.	この国際出願に	は、ヌクレオチド又はアミノi	<b>敦配列を含んで</b>	おり、次の配列表に基づき	き国際予備審査報告を行った。	
□ この国際出願に含まれる書面による配列表 □ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった □ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。						
4.	補正により、 ] 明細 <b>音</b> ] 請求の範囲 ] 図面	下記の <b>魯類が削除された。</b> 第 第 図面の第	ページ 項 ペー	-ジ/図		
5. この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1. における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)						
			·			

v.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能 文献及び説明	を性についての法第12条	(PCT35条(2)) 	に定める見解、 	それを <b>裏付ける</b> 
1.	見解				
	新規性(N)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-7		
	進歩性(IS)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-7		
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-7		有 無

## 2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: JP 5-285559 A (株式会社アマダメトレックス), 1993. 11.02, 全文, 全図 文献2: JP 1-192429 A (株式会社協豊製作所), 1989.08.02, 全文, 全図 文献3: JP 62-77124 A (株式会社大橋製作所), 1987.04.09, 全文, 全図 文献4: JP 5-317990 A (株式会社アマダメトレックス), 1993.12.03, 全文, 全図 文献5: JP 6-15378 A (株式会社アマダメトレックス), 1994.01.25, 全文, 全図 文献6: US 6189361 B1 (AMADA METRECS COMPANY LIMITED) 2001.02.20, 全文, 全図 &WO 99/11399 A1 &JP 11-147136 A 文献7: US 5848866 A (TEE-LOK CORPORATION) 1998.12.15, 全文, 全図 文献8: 日本国実用新案登録出願2-124260号(日本国実用新案登録出願公開4-80614号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム(株式会社アマダ), 1992.07.14, 全文, 全図

請求の範囲1-7に係る発明は、国際調査報告で引用したいずれの文献にも記載も 示唆もされていない。